

3回目鍼治療 日時:2008/ / ( )

併用薬剤 : . .

シビレ部位  上肢(右)  上肢(左)  下肢(右)  下肢(左)

●JCOG/JSCO 版 (Common Terminology Criteria for Adverse Events v3.0 (CTCAE)による評価

運動性神経障害のグレード:

- Grade1 症状はない、診察/検査によってのみ確認される。
- Grade 2 症状を伴う脱力により機能障害はあるが、日常生活には支障がない。
- Grade 3 脱力により日常生活に支障:歩行時にバランスの確保または補助要する。
- Grade 4 生命を脅かす;活動不能/動作不能(例:麻痺)

感覚性神経障害のグレード:

- Grade1 症状なし、深部腱反射消失または知覚異常があり、機能害はない。
- Grade2 知覚変化または知覚異常による機能障害あり、ADLには支障がない。
- Grade3 日常生活に支障がある知覚変化または知覚異常。
- Grade4 活動不能/動作不能

Numerical Rating Scale(症状の軽減)

①症状全体を総合的にみたらさの程度 \_\_\_\_\_

②しびれ、痛み、不快感など具体的な症状のうち上位2種類のつらさの程度

症状1 [ ] \_\_\_\_\_

症状2 [ ] \_\_\_\_\_

治療直後に改善した症状の(有・無) \_\_\_\_\_

有害事象の(有・無)

\*有害事象がある場合には報告用紙に記載する  記載済みチェック

本日使用した鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本  治療の最後に抜いた鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本

4回目鍼治療 日時:2008/ / ( )

併用薬剤 : \_\_\_\_\_ . \_\_\_\_\_ . \_\_\_\_\_

シビレ部位  上肢(右)  上肢(左)  下肢(右)  下肢(左)

●JCOG/JSCO 版 (Common Terminology Criteria for Adverse Events v3.0 (CTCAE)による評価

運動性神経障害のグレード:

- Grade1 症状はない、診察/検査によってのみ確認される。
- Grade 2 症状を伴う脱力により機能障害はあるが、日常生活には支障がない。
- Grade 3 脱力により日常生活に支障:歩行時にバランスの確保または補助要する。
- Grade 4 生命を脅かす;活動不能/動作不能(例:麻痺)

感覚性神経障害のグレード:

- Grade1 症状なし、深部腱反射消失または知覚異常があり、機能害はない。
- Grade2 知覚変化または知覚異常による機能障害あり、ADLには支障がない。
- Grade3 日常生活に支障がある知覚変化または知覚異常。
- Grade4 活動不能/動作不能

Numerical Rating Scale(症状の軽減)

①症状全体を総合的にみたらさの程度 \_\_\_\_\_

②しびれ、痛み、不快感など具体的な症状のうち上位2種類のつらさの程度

症状1 [ \_\_\_\_\_ ] \_\_\_\_\_

症状2 [ \_\_\_\_\_ ] \_\_\_\_\_

治療直後に改善した症状の(有・無) \_\_\_\_\_

有害事象の(有・無)

\*有害事象がある場合には報告用紙に記載する  記載済みチェック

本日使用した鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本  治療の最後に抜いた鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本

5回目鍼治療 日時:2008/ / ( )

併用薬剤 : \_\_\_\_\_ . \_\_\_\_\_ . \_\_\_\_\_

シビレ部位  上肢(右)  上肢(左)  下肢(右)  下肢(左)

●JCOG/JSCO 版 (Common Terminology Criteria for Adverse Events v3.0 (CTCAE)による評価

運動性神経障害のグレード:

- Grade1 症状はない、診察/検査によってのみ確認される。
- Grade 2 症状を伴う脱力により機能障害はあるが、日常生活には支障がない。
- Grade 3 脱力により日常生活に支障:歩行時にバランスの確保または補助要する。
- Grade 4 生命を脅かす;活動不能/動作不能(例:麻痺)

感覚性神経障害のグレード:

- Grade1 症状なし、深部腱反射消失または知覚異常があり、機能害はない。
- Grade2 知覚変化または知覚異常による機能障害あり、ADL には支障がない。
- Grade3 日常生活に支障がある知覚変化または知覚異常。
- Grade4 活動不能/動作不能

Numerical Rating Scale(症状の軽減)

①症状全体を総合的にみたらさの程度 \_\_\_\_\_

②しびれ、痛み、不快感など具体的な症状のうち上位2種類のつらさの程度

症状1 [ \_\_\_\_\_ ] \_\_\_\_\_

症状2 [ \_\_\_\_\_ ] \_\_\_\_\_

治療直後に改善した症状の(有・無) \_\_\_\_\_

有害事象の(有・無) \_\_\_\_\_

\*有害事象がある場合には報告用紙に記載する  記載済みチェック

本日使用した鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本  治療の最後に抜いた鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本

6回目鍼治療 日時:2008/ / ( )

併用薬剤 : \_\_\_\_\_ . \_\_\_\_\_ . \_\_\_\_\_

シビレ部位  上肢(右)  上肢(左)  下肢(右)  下肢(左)

●JCOG/JSCO 版 (Common Terminology Criteria for Adverse Events v3.0 (CTCAE)による評価

運動性神経障害のグレード:

- Grade1 症状はない、診察/検査によってのみ確認される。
- Grade2 症状を伴う脱力により機能障害はあるが、日常生活には支障がない。
- Grade3 脱力により日常生活に支障:歩行時にバランスの確保または補助要する。
- Grade4 生命を脅かす;活動不能/動作不能(例:麻痺)

感覚性神経障害のグレード:

- Grade1 症状なし、深部腱反射消失または知覚異常があり、機能害はない。
- Grade2 知覚変化または知覚異常による機能障害あり、ADLには支障がない。
- Grade3 日常生活に支障がある知覚変化または知覚異常。
- Grade4 活動不能/動作不能

Numerical Rating Scale(症状の軽減)

①症状全体を総合的にみたらさの程度 \_\_\_\_\_

②しびれ、痛み、不快感など具体的な症状のうち上位2種類のつらさの程度

症状1 [ \_\_\_\_\_ ] \_\_\_\_\_

症状2 [ \_\_\_\_\_ ] \_\_\_\_\_

治療直後に改善した症状の(有・無) \_\_\_\_\_

有害事象の(有・無) \_\_\_\_\_

\*有害事象がある場合には報告用紙に記載する  記載済みチェック

本日使用した鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本  治療の最後に抜いた鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本

7回目鍼治療 日時:2008/ / ( )

併用薬剤 : \_\_\_\_\_ . \_\_\_\_\_ . \_\_\_\_\_

シビレ部位  上肢(右)  上肢(左)  下肢(右)  下肢(左)

●JCOG/JSCO 版 (Common Terminology Criteria for Adverse Events v3.0 (CTCAE)による評価

運動性神経障害のグレード:

- Grade1 症状はない、診察/検査によってのみ確認される。
- Grade2 症状を伴う脱力により機能障害はあるが、日常生活には支障がない。
- Grade3 脱力により日常生活に支障:歩行時にバランスの確保または補助要する。
- Grade4 生命を脅かす;活動不能/動作不能(例:麻痺)

感覚性神経障害のグレード:

- Grade1 症状なし、深部腱反射消失または知覚異常があり、機能害はない。
- Grade2 知覚変化または知覚異常による機能障害あり、ADLには支障がない。
- Grade3 日常生活に支障がある知覚変化または知覚異常。
- Grade4 活動不能/動作不能

Numerical Rating Scale(症状の軽減)

①症状全体を総合的にみたらさの程度 \_\_\_\_\_

②しびれ、痛み、不快感など具体的な症状のうち上位2種類のつらさの程度

症状1 [ \_\_\_\_\_ ] \_\_\_\_\_

症状2 [ \_\_\_\_\_ ] \_\_\_\_\_

治療直後に改善した症状の(有・無) \_\_\_\_\_

有害事象の(有・無) \_\_\_\_\_

\*有害事象がある場合には報告用紙に記載する  記載済みチェック

本日使用した鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本  治療の最後に抜いた鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本

8回目鍼治療 日時:2008/ / ( )

併用薬剤 : \_\_\_\_\_ . \_\_\_\_\_ . \_\_\_\_\_

シビレ部位  上肢(右)  上肢(左)  下肢(右)  下肢(左)

●JCOG/JSCO 版 (Common Terminology Criteria for Adverse Events v3.0 (CTCAE)による評価

運動性神経障害のグレード:

- Grade1 症状はない、診察/検査によってのみ確認される。
- Grade2 症状を伴う脱力により機能障害はあるが、日常生活には支障がない。
- Grade3 脱力により日常生活に支障:歩行時にバランスの確保または補助要する。
- Grade4 生命を脅かす;活動不能/動作不能(例:麻痺)

感覚性神経障害のグレード:

- Grade1 症状なし、深部腱反射消失または知覚異常があり、機能害はない。
- Grade2 知覚変化または知覚異常による機能障害あり、ADLには支障がない。
- Grade3 日常生活に支障がある知覚変化または知覚異常。
- Grade4 活動不能/動作不能

Numerical Rating Scale(症状の軽減)

- ①症状全体を総合的にみたらさの程度 \_\_\_\_\_
- ②しびれ、痛み、不快感など具体的な症状のうち上位2種類のつらさの程度  
症状1 [ \_\_\_\_\_ ] \_\_\_\_\_  
症状2 [ \_\_\_\_\_ ] \_\_\_\_\_

治療直後に改善した症状の(有・無) \_\_\_\_\_

有害事象の(有・無) \_\_\_\_\_

\*有害事象がある場合には報告用紙に記載する  記載済みチェック

本日使用した鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本  治療の最後に抜いた鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本

9回目鍼治療 日時:2008/ / ( )

併用薬剤 : \_\_\_\_\_ . \_\_\_\_\_ . \_\_\_\_\_

シビレ部位  上肢(右)  上肢(左)  下肢(右)  下肢(左)

●JCOG/JSCO 版 (Common Terminology Criteria for Adverse Events v3.0 (CTCAE)による評価

運動性神経障害のグレード:

- Grade1 症状はない、診察/検査によってのみ確認される。
- Grade2 症状を伴う脱力により機能障害はあるが、日常生活には支障がない。
- Grade3 脱力により日常生活に支障:歩行時にバランスの確保または補助要する。
- Grade4 生命を脅かす;活動不能/動作不能(例:麻痺)

感覚性神経障害のグレード:

- Grade1 症状なし、深部腱反射消失または知覚異常があり、機能害はない。
- Grade2 知覚変化または知覚異常による機能障害あり、ADLには支障がない。
- Grade3 日常生活に支障がある知覚変化または知覚異常。
- Grade4 活動不能/動作不能

Numerical Rating Scale(症状の軽減)

- ①症状全体を総合的にみたらさの程度 \_\_\_\_\_
- ②しびれ、痛み、不快感など具体的な症状のうち上位2種類のつらさの程度  
症状1 [ \_\_\_\_\_ ] \_\_\_\_\_  
症状2 [ \_\_\_\_\_ ] \_\_\_\_\_

治療直後に改善した症状の(有・無) \_\_\_\_\_

有害事象の(有・無) \_\_\_\_\_

\*有害事象がある場合には報告用紙に記載する  記載済みチェック

本日使用した鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本  治療の最後に抜いた鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本

10回目鍼治療 日時:2008/ / ( )

併用薬剤 : \_\_\_\_\_ . \_\_\_\_\_ . \_\_\_\_\_

シビレ部位  上肢(右)  上肢(左)  下肢(右)  下肢(左)

●JCOG/JSCO 版 (Common Terminology Criteria for Adverse Events v3.0 (CTCAE)による評価

運動性神経障害のグレード:

- Grade1 症状はない、診察/検査によってのみ確認される。
- Grade 2 症状を伴う脱力により機能障害はあるが、日常生活には支障がない。
- Grade 3 脱力により日常生活に支障:歩行時にバランスの確保または補助要する。
- Grade 4 生命を脅かす;活動不能/動作不能(例:麻痺)

感覚性神経障害のグレード:

- Grade1 症状なし、深部腱反射消失または知覚異常があり、機能害はない。
- Grade2 知覚変化または知覚異常による機能障害あり、ADLには支障がない。
- Grade3 日常生活に支障がある知覚変化または知覚異常。
- Grade4 活動不能/動作不能

Numerical Rating Scale(症状の軽減)

①症状全体を総合的にみたらさの程度 \_\_\_\_\_

②しびれ、痛み、不快感など具体的な症状のうち上位2種類のつらさの程度

症状1 [ \_\_\_\_\_ ] \_\_\_\_\_

症状2 [ \_\_\_\_\_ ] \_\_\_\_\_

治療直後に改善した症状の(有・無) \_\_\_\_\_

有害事象の(有・無) \_\_\_\_\_

\*有害事象がある場合には報告用紙に記載する  記載済みチェック

本日使用した鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本  治療の最後に抜いた鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本

11回目鍼治療 日時:2008/ / ( )

併用薬剤 : \_\_\_\_\_ . \_\_\_\_\_ . \_\_\_\_\_

シビレ部位  上肢(右)  上肢(左)  下肢(右)  下肢(左)

●JCOG/JSCO 版 (Common Terminology Criteria for Adverse Events v3.0 (CTCAE)による評価

運動性神経障害のグレード:

- Grade1 症状はない、診察/検査によってのみ確認される。
- Grade2 症状を伴う脱力により機能障害はあるが、日常生活には支障がない。
- Grade3 脱力により日常生活に支障:歩行時にバランスの確保または補助要する。□
- Grade4 生命を脅かす;活動不能/動作不能(例:麻痺)

感覚性神経障害のグレード:

- Grade1 症状なし、深部腱反射消失または知覚異常があり、機能害はない。
- Grade2 知覚変化または知覚異常による機能障害あり、ADLには支障がない。
- Grade3 日常生活に支障がある知覚変化または知覚異常。
- Grade4 活動不能/動作不能

Numerical Rating Scale(症状の軽減)

- ①症状全体を総合的にみたらさの程度 \_\_\_\_\_
- ②しびれ、痛み、不快感など具体的な症状のうち上位2種類のつらさの程度  
症状1 [ \_\_\_\_\_ ] \_\_\_\_\_  
症状2 [ \_\_\_\_\_ ] \_\_\_\_\_

治療直後に改善した症状の(有・無) \_\_\_\_\_

有害事象の(有・無) \_\_\_\_\_

\*有害事象がある場合には報告用紙に記載する  記載済みチェック

本日使用した鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本  治療の最後に抜いた鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本

12回目鍼治療 日時:2008/ / ( )

併用薬剤 : \_\_\_\_\_ . \_\_\_\_\_ . \_\_\_\_\_

シビレ部位  上肢(右)  上肢(左)  下肢(右)  下肢(左)

●JCOG/JSCO 版 (Common Terminology Criteria for Adverse Events v3.0 (CTCAE)による評価

運動性神経障害のグレード:

- Grade1 症状はない、診察/検査によってのみ確認される。
- Grade 2 症状を伴う脱力により機能障害はあるが、日常生活には支障がない。
- Grade 3 脱力により日常生活に支障:歩行時にバランスの確保または補助要する。
- Grade 4 生命を脅かす;活動不能/動作不能(例:麻痺)

感覚性神経障害のグレード:

- Grade1 症状なし、深部腱反射消失または知覚異常があり、機能害はない。
- Grade2 知覚変化または知覚異常による機能障害あり、ADLには支障がない。
- Grade3 日常生活に支障がある知覚変化または知覚異常。
- Grade4 活動不能/動作不能

Numerical Rating Scale (症状の軽減)

①症状全体を総合的にみたらさの程度 \_\_\_\_\_

②しびれ、痛み、不快感など具体的な症状のうち上位2種類のつらさの程度

症状1 { \_\_\_\_\_ }

症状2 { \_\_\_\_\_ }

治療直後に改善した症状の(有・無) \_\_\_\_\_

有害事象の(有・無)

\*有害事象がある場合には報告用紙に記載する  記載済みチェック

本日使用した鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本  治療の最後に抜いた鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本

13回目鍼治療 日時:2008/ / ( )

併用薬剤 : \_\_\_\_\_ . \_\_\_\_\_ . \_\_\_\_\_

シビレ部位  上肢(右)  上肢(左)  下肢(右)  下肢(左)

●JCOG/JSCO 版 (Common Terminology Criteria for Adverse Events v3.0 (CTCAE)による評価

運動性神経障害のグレード:

- Grade1 症状はない、診察/検査によってのみ確認される。
- Grade2 症状を伴う脱力により機能障害はあるが、日常生活には支障がない。
- Grade3 脱力により日常生活に支障:歩行時にバランスの確保または補助要する。
- Grade4 生命を脅かす;活動不能/動作不能(例:麻痺)

感覚性神経障害のグレード:

- Grade1 症状なし、深部腱反射消失または知覚異常があり、機能害はない。
- Grade2 知覚変化または知覚異常による機能障害あり、ADLには支障がない。
- Grade3 日常生活に支障がある知覚変化または知覚異常。
- Grade4 活動不能/動作不能

Numerical Rating Scale(症状の軽減)

①症状全体を総合的にみたらさの程度 \_\_\_\_\_

②しびれ、痛み、不快感など具体的な症状のうち上位2種類のつらさの程度

症状1 [ \_\_\_\_\_ ] \_\_\_\_\_

症状2 [ \_\_\_\_\_ ] \_\_\_\_\_

治療直後に改善した症状の(有・無) \_\_\_\_\_

有害事象の(有・無) \_\_\_\_\_

\*有害事象がある場合には報告用紙に記載する  記載済みチェック

本日使用した鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本  治療の最後に抜いた鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本

14回目鍼治療 日時:2008/ / ( )

併用薬剤 : \_\_\_\_\_ . \_\_\_\_\_ . \_\_\_\_\_

シビレ部位  上肢(右)  上肢(左)  下肢(右)  下肢(左)

●JCOG/JSCO 版 (Common Terminology Criteria for Adverse Events v3.0 (CTCAE)による評価

運動性神経障害のグレード:

- Grade1 症状はない、診察/検査によってのみ確認される。
- Grade2 症状を伴う脱力により機能障害はあるが、日常生活には支障がない。
- Grade3 脱力により日常生活に支障:歩行時にバランスの確保または補助要する。□
- Grade4 生命を脅かす;活動不能/動作不能(例:麻痺)

感覚性神経障害のグレード:

- Grade1 症状なし、深部腱反射消失または知覚異常があり、機能害はない。
- Grade2 知覚変化または知覚異常による機能障害あり、ADLには支障がない。
- Grade3 日常生活に支障がある知覚変化または知覚異常。
- Grade4 活動不能/動作不能

Numerical Rating Scale(症状の軽減)

①症状全体を総合的にみたらさの程度 \_\_\_\_\_

②しびれ、痛み、不快感など具体的な症状のうち上位2種類のつらさの程度

症状1 [ \_\_\_\_\_ ] \_\_\_\_\_

症状2 [ \_\_\_\_\_ ] \_\_\_\_\_

治療直後に改善した症状の(有・無) \_\_\_\_\_

有害事象の(有・無) \_\_\_\_\_

\*有害事象がある場合には報告用紙に記載する  記載済みチェック

本日使用した鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本  治療の最後に抜いた鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本

15回目鍼治療 日時:2008/ / ( )

併用薬剤 : \_\_\_\_\_ . \_\_\_\_\_ . \_\_\_\_\_

シビレ部位  上肢(右)  上肢(左)  下肢(右)  下肢(左)

●JCOG/JSCO 版 (Common Terminology Criteria for Adverse Events v3.0 (CTCAE)による評価

運動性神経障害のグレード:

- Grade1 症状はない、診察/検査によってのみ確認される。
- Grade 2 症状を伴う脱力により機能障害はあるが、日常生活には支障がない。
- Grade 3 脱力により日常生活に支障:歩行時にバランスの確保または補助要する。□
- Grade 4 生命を脅かす;活動不能/動作不能(例:麻痺)

感覚性神経障害のグレード:

- Grade1 症状なし、深部腱反射消失または知覚異常があり、機能害はない。
- Grade2 知覚変化または知覚異常による機能障害あり、ADLには支障がない。
- Grade3 日常生活に支障がある知覚変化または知覚異常。
- Grade4 活動不能/動作不能

Numerical Rating Scale(症状の軽減)

①症状全体を総合的にみたらさの程度 \_\_\_\_\_

②しびれ、痛み、不快感など具体的な症状のうち上位2種類のつらさの程度

症状1 [ \_\_\_\_\_ ] \_\_\_\_\_

症状2 [ \_\_\_\_\_ ] \_\_\_\_\_

治療直後に改善した症状の(有・無) \_\_\_\_\_

有害事象の(有・無)

\*有害事象がある場合には報告用紙に記載する  記載済みチェック

本日使用した鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本  治療の最後に抜いた鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本

16回目鍼治療 日時:2008/ / ( )

併用薬剤 : \_\_\_\_\_ . \_\_\_\_\_ . \_\_\_\_\_

シビレ部位  上肢(右)  上肢(左)  下肢(右)  下肢(左)

●JCOG/JSCO 版 (Common Terminology Criteria for Adverse Events v3.0 (CTCAE)による評価

運動性神経障害のグレード:

- Grade1 症状はない、診察/検査によってのみ確認される。
- Grade 2 症状を伴う脱力により機能障害はあるが、日常生活には支障がない。
- Grade 3 脱力により日常生活に支障:歩行時にバランスの確保または補助要する。
- Grade 4 生命を脅かす;活動不能/動作不能(例:麻痺)

感覚性神経障害のグレード:

- Grade1 症状なし、深部腱反射消失または知覚異常があり、機能害はない。
- Grade2 知覚変化または知覚異常による機能障害あり、ADLには支障がない。
- Grade3 日常生活に支障がある知覚変化または知覚異常。
- Grade4 活動不能/動作不能

Numerical Rating Scale(症状の軽減)

①症状全体を総合的にみたらさの程度 \_\_\_\_\_

②しびれ、痛み、不快感など具体的な症状のうち上位2種類のつらさの程度

症状1 [ \_\_\_\_\_ ] \_\_\_\_\_

症状2 [ \_\_\_\_\_ ] \_\_\_\_\_

治療直後に改善した症状の(有・無) \_\_\_\_\_

有害事象の(有・無)

\*有害事象がある場合には報告用紙に記載する  記載済みチェック

本日使用した鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本  治療の最後に抜いた鍼の本数 \_\_\_\_\_ 本

最終時に患者が鍼治療継続への意向 (継続希望あり・継続希望なし)

施術者メモ:

---



---



---



---



### Ⅲ. 研究成果の刊行に関する 一覧表

書籍（日本語）

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
下山直人、 他	疼痛のメカニズム	東原正明	癌緩和ケア	振興医学出版社	東京	2008	6-9
片山博文、 下山直人	緩和療法の実際	田村友秀	がん看護実践シリーズ3 肺がん	メヂカルフレンド社	東京	2007	146-154
大澤美佳、 下山直人、 他	ターミナル期にある患者の支援	藤原康弘	がん看護実践シリーズ8 乳がん	メヂカルフレンド社	東京	2007	197-212
下山直人	緩和医療におけるインフォームド・コンセント	五十子敬子	医をめぐる自己決定-倫理・看護・医療・法の視座-	イウス出版	東京	2007	147-161
下山恵美、 下山直人	緩和医療1. オピオイドの使い方は？	永井厚志、 吉澤靖之、 大田健、 江口研二	EBM呼吸器疾患の治療	中外医学社	東京	2007	405-408
下山直人	医療用麻薬（オピオイド鎮痛薬）の種類と特徴	下山直人	インフォームドコンセントのための図説シリーズ がん性疼痛	医薬ジャーナル社	東京	2007	34-39
高橋秀徳、 下山直人	Ⅱ. 緩和ケアにおけるコンサルテーション活動の専門性 2. 緩和ケアチームで活躍する医師の役割と実際-1) 緩和ケア担当医の立場から	(財) 日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団 「ホスピス緩和ケア白書」編集委員会	ホスピス緩和ケア白書2007	(財) 日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団	東京	2007	24-27
下山直人	がん患者の苦痛に対する鍼灸の効果	日本統合医療学会、 渥美和彦	統合医療 基礎と臨床	株式会社ゾディアック	東京	2007	66-73

雑誌（外国語）

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
M Shimoyama, N Shimoyama, et al	The mu-opioid peptide [Dmt1]DALDA acts predominantly in the spinal cord to produce analgesia in rats	Anesthesia & Analgesia			Submitted

M Miyashita, <u>N S himoyama</u> , et al	Barreirs to Providing Palliative Care and Priorities for Future Actions to Advance Palliative Care in Japan: A Nationwide Expert Opinion Survey	Jounal of Palliative Medicine	10(2)	390-399	2007
Arishima, T., <u>Hanawa, T.</u> et al.	Kampo therapy for Graves' disease associated with psychological disorders	Kampo Medicine	58	69-74	2007
Endo, M., <u>Hanawa, T.</u> et al.	Pharmacological analysis for the optimal combination ratio of Shakuyaku and Kanzo in shakuyaku kanzoto	J. Trad. Med.	24	39-42	2007
Hayasaki, T., <u>Hanawa, T.</u> et al.	Analysis of Pharmacological Effect and Molecular Mechanisms of a Traditional Herbal Medicine by Global Gene Expression Analysis: an Exploratory Study.	Journal of Clinical Pharmacy and Therapeutics			in press.
Hyuga, S., <u>Hanawa, T.</u> et al.	Maoto, Kampo medicine, suppresses the metastatic potential of highly metastatic osteosarcoma cells.	J. Trad. Med.	24	51-58	2007
Hayasaki, T., <u>Hanawa, T.</u> et al.	Effects of hangeshashinto on butyrate-induced cell death in murine colonic epithelial cell.	J. Trad. Med.	24	81-86	2007
Arishima, T., <u>Hanawa, T.</u> et al.	Successful Treatment of Panic Disorder with Ryukotsuto.	Kampo Medicine	58	487-493	2007
Ito, H., <u>Hanawa, T.</u> et al.	Maoto, a Kampo medicine, suppresses human serum-induced motility of human breast cancer cells.	J. Trad. Med.	24	168-172	2007
Hyuga, S., <u>Hanawa, T.</u>	The basic research of Kampo medicines in view of clinical application - Prevention of cancer metastasis by a Kampo medicine and evaluation of the safety of Kampo medicines used for menopausal symptoms.	J. Trad. Med.			in press.

Yamashita H, <u>Tsukayama H</u>	Safety of Acupuncture Practice in Japan: Patient Reactions, Therapist Negligence and Error Reduction Strategies	Evid. Based Complement. Altern. Med.	http://ecam.oxfordjournals.org/cgi/reprint/nem086v1?maxtoshow=&HITS=10&hits=10&RESULTFORMAT=&fulltext=Tsukayama&searchid=1&FIRSTINDEX=0&resourcetype=HWCIT		2007
KAWAKITA K, <u>TSUKAYAMA H</u> , et al	Report of the 3rd Japan-Korea Workshop on Acupuncture and EBM -- Protocol development for the acupuncture trial on the osteoarthritis of the knee	JAM.; 1: 12-24.	http://www.jsam.jp/journal/online/index4.php		2007
<u>Tsukayama H</u> , et al	Attitude and decision-making process for use of acupuncture among clinical oncologists in Japan: questionnaire surveys	Focus Altern Complement Ther	12	48-9	2007
<u>Kouno T</u> , et al	Weekly Paclitaxel and Carboplatin against Advanced Transitional Cell Cancer after Failure of a Platinum-Based Regimen.	Eur Urol	52(4)	1115-22	2007
Shimizu C, <u>Kouno T</u> , et al	Current trends and controversies over pre-operative chemotherapy for women with operable breast cancer.	Jpn J Clin Oncol	37(1)	1-8	2007
Yonemori K, <u>Kouno T</u> , et al	Prediction of response to repeat utilization of anthracycline in recurrent breast cancer patients previously administered anthracycline-containing chemotherapeutic regimens as neoadjuvant or adjuvant chemotherapy.	Breast Cancer Res Treat.	103(3)	313-8	2007

雑誌（日本語）

下山恵美、 <u>下山直人</u> 、他	経口オピオイド鎮痛薬の重要性とオキシコドンが果たす臨床的役割	がん患者と対症療法	18(2)	6-10	2007
<u>下山直人</u>	科学的知見に基づくオピオイドに関する知識の再確認	がん患者と対症療法	18(2)	85-87	2007

中山理加、 <u>下山直人</u> 、他	疼痛コントロール	内科	100 (6)	1037-1045	2007
片山博文、 <u>下山直人</u> 、他	腎障害を伴うがん患者の痛み治療におけるオキシコドンの有用性—モルヒネからの切り替え事例を経験して	がん患者と対症療法	18(2)	40-42	2007
<u>下山直人</u>	緩和治療・痛みのケア	別冊暮らしの手帖 がん安心読本		76-81	2007
<u>下山直人</u>	緩和ケア療法における鎮痛薬の使い方	日本耳鼻咽喉科学会専門医通信	92	12-13	2007
中山理加、 <u>下山直人</u> 、他	癌性疼痛	臨牀と研究	84(6)	57-61	2007
<u>下山直人</u>	緩和医療はここまで進んだ	東京女子医科大学雑誌	77(4)	182-186	2007
服部政治、 <u>下山直人</u> 、他	オピオイドローテーション	緩和医療学	9(2)	79-85	2007
中山理加、 <u>下山直人</u> 、他	QOL維持のための疼痛管理	からだの科学	253	179-182	2007
木俣有美子、 <u>下山直人</u> 、他	肺がんの合併症対策1) がん性疼痛の管理	呼吸器科	11(2)	156-163	2007
門田和気、 <u>下山直人</u> 、他	新しく導入される可能性の高いオピオイドとその意義	がん看護	12(2)	180-183	2007
中山理加、 <u>下山直人</u> 、他	鎮痛補助薬	日本臨牀	65(1)	57-62	2007
小田口浩、 <u>花輪壽彦</u> 、他	頭痛の漢方療法	総合臨牀	56	718-722	2007
<u>花輪壽彦</u>	漢方臨床研究の展望、第57回日本東洋医学会学術総会	日本東洋医学雑誌	58	833-845	2007
五野由佳理、 <u>花輪壽彦</u>	女性の頭痛と漢方療法、特集 女性のQOLと漢方	産婦人科治療	95	607 - 610	2007
堀紀子、 <u>津嘉山洋</u> 、他	鍼灸受療患者におけるHBs抗原およびHCV抗体の陽性率 筑波技術大学東西医学統合医療センターにおけるスクリーニング検査	東洋医学とペインクリニック	37巻3-4	70-77	2007
<u>津嘉山洋</u>	実は慢性虫垂炎だった腰痛	医道の日本	66巻11号	53-55	2007